

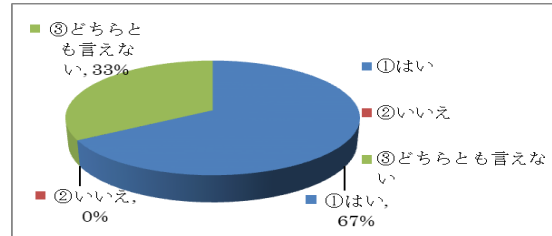
下刈作業における空調服のモニタリングについて

1 はじめに

林業で労働強度が大きいのが、夏場の下刈作業で、猛暑の中での長袖・長ズボン等を着用しての作業は過酷です。

この下刈作業の労働強度軽減策として「空調服」の着用があります。

空調服とは、服に付いた小型ファンで、服の中に外気を取り入れ、体の表面に大量の風を流すことにより、汗を気化させて、涼しく快適にする製品です。(下写真参照)



②「涼しい以外の効用」として、
・蜂が寄って来ないような気がする。
・休憩時に汗がひけるのが早い。などの意見がありました。

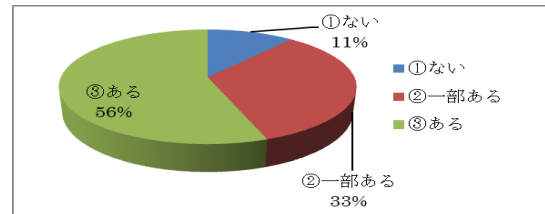
③「ファン、バッテリーが付いていることでの作業への支障」は、「空調ファンに刈払機のエンジン部分が当たる」、「肩掛けバンドをすると、空気が全体に通りにくい」などがありました。

対策としては、「肩掛けバンドの高さを調整する」、「通気性の良いインナーを着用する」などが考えられます。

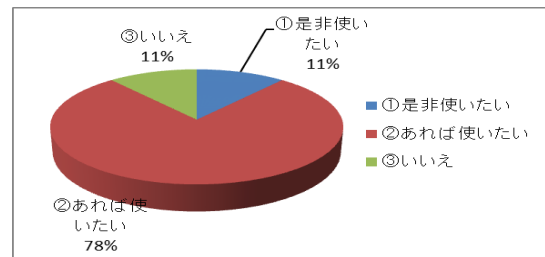
2 モニタリング方法

空調服を4林業事業体に10着貸与し、7月から9月頃までモニタリングを行い、アンケートに協力いただきました。

貸与した空調服は、空調服上着とファンとバッテリーのセットです。(下写真参照)



④「今後の使用希望」については、約8割が使ってみたいとの回答でした。



3 アンケート結果

アンケートの回答は、9名から得られました。

①「空調服を着て作業をして涼しかったか」という質問に対して、「涼しかった」との意見が6割以上を占めました。

4 今後の取組

空調服は、夏場の下刈作業での労働強度を軽減させる有効なアイテムであることから、今後も、通気性を工夫したものを紹介するなど、林業事業体への普及を図っていく予定です。